

平成 22 年 10 月 29 日

各 位

会社名 株式会社 新生銀行
代表者名 代表取締役社長 当麻 茂樹
(コード番号 : 8303 東証第一部)

平成 23 年 3 月期中間期業績予想の修正に関するお知らせ
～ 順調なコア業務と予防的な手当てにより収益力の安定化に向け着実な進展～

当行は、平成 22 年 5 月 14 日の決算発表時に公表いたしました平成 23 年 3 月期中間期の連結・単体業績予想を下記の通り修正いたします。

- 連結中間純利益予想は 50 億円から 168 億円に修正
- 連結キャッシュベース中間純利益¹ 予想は 227 億円
- 単体中間純利益予想は 93 億円

平成23年3月期中間期、当行は、厳しい業務環境が続く中、新経営陣の下、安定した収益力をもち、国内外産業経済の発展に貢献し、お客さまに求められる銀行グループを目指し、「顧客基盤の再構築」と「収益力の安定化」を目標とした中期経営計画に沿った業務の遂行に注力してまいりました。

当中間期におきましては、過去における大きな投資関連損失要因もなく、法人部門、マーケット・投資銀行部門、個人部門のコア業務が当初計画比総じて順調に推移したことに加え、ノンコア業務資産の売却益計上や、経費の徹底した削減などにより、法人関連業務における保守的・予防的な引当金積み増しを実施しながらも、前回発表見通しを上回る利益を計上する見込みです。この結果、連結中間純利益の予想を50億円から168億円に上方修正し、連結キャッシュベース中間純利益予想を227億円といたします。また、単体中間純利益予想は、93億円といたします。

法人部門、マーケット・投資銀行部門においては、過去の大きな投資関連損失要因がなくなる中、コア業務が順調に推移し、海外アセットバック証券・投資などノンコア業務資産の処分による売却益計上などもあり、業務粗利益は好調に推移いたしました。また、経費も徹底して削減したことから、実質業務純益も対前年同期比ならびに計画比、好調に推移いたしました。一方、第2四半期において、潜在リスクへの備えとして、国内不動産ノンリコースファイナンスや、スペシャルティファイナンス²への保守的・予防的な引当金の積み増しを実施し、「収益力の安定化」へ向け、より踏み込んだ対応をいたしました。

個人部門のリテールバンキング業務においては、低利調達を推進する中、2週間満期預金や外貨預金などの販売も順調に推移いたしました。コンシューマーファイナンス業務においては、貸金業法改正の影響などで業務粗利益が対前年同期比減少したものの、これに備えた従前からの徹底したリストラ効果による経費の大幅な削減により、個人部門の実質業務純益は、ほぼ計画どおりの進捗となりました。また、与信関連費用については、資産の質や回収率の改善などにより、計画比減少いたしました。

以上を踏まえ、今般、連結中間期業績予想を上方修正いたします。なお、通期の業績予想については、改正貸金業法完全施行の影響など今後の経済情勢や金融市場の不透明感を踏まえ、現段階では新たな見通しを発表することを差し控えさせていただきます。

なお、平成22年9月末の自己資本比率については、円高などによる外貨建て資本性証券の減少にもかかわらず、内部留保の積上げや、リスクアセットがリスク資産の削減などにより減少したことから、連結自己資本比率³は8.94%、Tier 1比率³は6.97%と共に対6月末比概ね横這いとなる見込みです。また、9月末の手元流動性は約1.3兆円と、6月末と同じ十分な水準を確保しております。

平成22年11月10日に予定している平成23年3月期中間期決算発表時には、業績の更なる詳細についてご報告いたします。

¹ 純利益(または純損失)からのれんに係る償却・減損額及び企業結合に伴う無形固定資産償却・減損とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたもの

² 企業買収ファイナンスを中心とする、ストラクチャードファイナンス

³ パーゼルⅡベース

当中間期の業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位:億円)

(単位:億円)

【連結】	経常収益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益	キャッシュベース 中間純利益*
前回発表見通し (平成22年5月14日公表)(A)	2,500	120	50	2円54銭	
今回見通し(B)	2,547	182	168	8円59銭	227
増減額(B-A)	47	62	118	6円5銭	
増減率(%)	1.8%	51.6%	236.0%	238.1%	
(ご参考)前中間期実績 (平成22年3月期中間期)	2,977	53	110	5円63銭	202

*純利益(または純損失)からのれんに係る償却・減損額及び企業結合に伴う無形固定資産償却・減損とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたもの

(単位:億円)

【単体】	実質業務純益	中間純利益
前回発表見通し(平成22年5月14日公表)(A)		
今回見通し(B)	402	93
増減額(B-A)		
増減率(%)		
(ご参考)前中間期実績(平成22年3月期中間期)	185	86

以上